自治体 しがの仲間
発行責任者 滋賀県自治体労働組合総連合（滋賀自治労連）委員長 杉本 高
〒520-0051 滋賀県大津市梅林1丁目3番30号 電話077-527-5511/FAX 077-527-5522
2023年 5 月　No.340

いま、改めて考える 憲法と地方自治

5月3日は憲法記念日

ほんだ　たきお
本多 滝夫氏
龍谷大学教授 /
滋賀自治体問題研究所理事長
滋賀自治体問題研究所ホームページ
http://shigajichiken.cocolog-nifty.com/

数年前に某新聞の文化欄に寄稿した「日本国憲法における地方自治の保障の意義」という題名のエッセイのなかで「日本国憲法に地方自治に関する規定が置かれたのは、中央集権的で官治的な政治構造を分権化し民主化することで、住民の人権を守る自治体が国の暴走の歯止めとなり、日本が二度と戦争を起こすことがないようにするためだったのです。」と書いたことがある。当時は、集団的自衛権の行使を認める安保関連法の施行直後であり、筆者なりに危機感をもっていた。しかし、振り返ると、日本が具体的な紛争に関与するといった切迫感があったわけでは必ずしもなかった。

しかし、昨年2月に始まったロシアのウクライナ侵攻を例にとり、戦後秩序が崩壊したとして、数年以内に中国が台湾への武力侵攻する可能性が米軍周辺から声高に説かれ始めた。これを奇貨として、日本政府は昨年末に安保三文書を改定し、そのなかで「反撃能力」と称する「敵基地攻撃能力」の保有を認めた。憲法上疑義のある自衛隊を「合憲」の域にかろうじてとどめていた「専守防衛」の原則から逸脱するものだ。また、2023年度予算では防衛費は、昨年比1.4兆円増の6.8兆円弱となった。一般歳出のなかでは、公共事業費、文教・科学振興費を凌いで、社会保障費に次ぐ予算占有率となっている。今や日本は、憲法が禁止したはずの「軍事国家」の様相を示し始めており、軍事に対する社会の抵抗力も弱まりつつあるようにも見える。

冒頭に引用した文章に照らせば、今こそ自治体は日本が新たな戦争の道に歩みださないように、しっかりとした姿勢を示さなければならない。そのためにはどうすればよいのだろうか。

答えは簡単だ。何よりも自治体は、住民の人権を守ることを最優先にし、政府の動員に加担しないことだ。

多くの自治体で自衛隊地方協力本部に募集対象者（18歳、22歳の住民）の基本4情報（氏名、生年月日、性別、住所）を紙媒体等で提供することが行われているという。しかし、少なくとも紙媒体等での提供は住民基本台帳法の脱法行為であるし、自衛隊が根拠としている自衛隊法施行令120条もそのような趣旨を定めている条文ではない（詳しくは、自治労連・研究機構「季刊自治と分権」91号〔2023年春号〕の拙稿を参照）。何よりも若者たちを戦場に送る手助けをしないこと、日本国憲法の下での自治体の責務ではないだろうか。

知っとコラム　メーデーとは何ですか？　どのような歴史があるのですか？

メーデー（ May Day）は、5 月 1 日に世界各地で行われる労働者の祭典です。労働者が権利を要求するために行進や集会などを行い、団結の威力を示す。本来は、ヨーロッパの伝統的な祝祭である五月祭を意味する。
（ウィキペディアフリー百科事典より）

「メーデー」とは本来五月祭を意味し、この日に夏の訪れを祝う祭がヨーロッパの各地で催されてきました。この祭では労働者と使用者（労使）双方が休戦し、共に祝うのが慣習でしたが、これが近代になって現在の「メーデー」へと転化し､「労働者の日」メーデーが誕生しました。

労働者の日としてのメーデーは、1886 年 5 月 1 日に、シカゴ、ニューヨーク、ボストンなどアメリカ合衆国全土で、38 万人以上の労働者と労働組合が8時間労働制を求めるために、ストライキに立ち上がりました。しかし、資本家は警察と結託し、2 日後シカゴの機械労働者 4 人が警察官に射殺され、その 1 日後、シカゴのヘイマーケット広場で労働者の集会に誰かが爆弾を投げ込みました。警察は労働組合メンバー 8 人を犯人として逮捕し、うち4 名が裁判で死刑となりました。資本家は労働組合に圧力を加え孤立させながら、8時間労働制の約束を次々廃棄しました（ヘイマーケット事件）。

1890 年 5 月 1 日、フランス革命百周年の記念日を迎え、フランスを本部とする第二インターナショナルは、アメリカ労働組合の呼びかけに応じて、アメリカ、ヨーロッパ、オーストラリア、ラテンアメリカなど世界各地で一斉に集会やデモをすることを決め、これ以降、毎年 5 月 1 日に世界各国でメーデーが開催されるようになりました。「仕事に 8 時間を、休息に 8 時間を、おれたちがやりたいことに 8 時間を !」（「8 時間労働の歌」）のスローガンが訴えられました。

第 1 次世界大戦後に設立された国際労働機関（ILO）は、1919 年の第1 回総会で「工業的企業に於ける労働時間を 1 日 8 時間かつ 1 週 48 時間に制限する条約」（第1号条約）、1930 年の第 14 回総会で「商業及び事務所における労働時間の規律に関する条約」（第30号条約）をそれぞれ採択しており、8時間労働制はグローバルスタンダードとなっています。しかし、両条約とも日本政府は「労働基準法三六条の労使協定（三六協定）で大幅な時間延長ができる点などが条約に抵触する」ことを理由に、労働時間に関する ILO 条約は全く批准しておらず、労働時間短縮に背を向ける姿勢が明らかになっています。

日本では、第 1 次世界大戦後恐慌時の 1920 年 5 月 2 日に第 1 回のメーデー（主催：大日本労働総同盟友愛会）が東京・上野公園で行われ、およそ 1 万人の労働者が「8時間労働制の実施」「失業の防止」「最低賃金法の制定」などを訴えました。翌年からは 5 月 1 日となり、開催地や参加人数も増えていきました。しかし、1936 年、二・二六事件発生により戒厳令が敷かれた後、同年 3 月19 日付けで治安維持を目的とする内務省警保局通牒が発せられ、3 月 24 日にメーデー開催が禁止され、1945 年まで戦争激化などの理由で開催されることはありませんでした。

第二次世界大戦敗戦翌年の 1946 年、「働けるだけ喰わせろ」をスローガンに掲げ､11 年ぶりのメーデーが通算で 17 回大会として盛大に開かれた（別名「食糧メーデー」または「飯米獲得人民大会」）。全国で 100 万人、東京の宮城前広場に 50 万人が集まった。5 月12 日には「米よこせ」を叫ぶ市民が宮城内に入り、同 19 日には「食糧メーデー」が 25 万人を集めて行われました。

日本の主権回復後の 1952 年に行われた第 23 回メーデーでは、片面講和と日本国とアメリカ合衆国との間の安全保障条約 への抗議も主張に含まれ、皇居前広場へ向かおうとしたデモ隊の一部が警官隊と衝突し、流血の惨事となりました（血のメーデー事件）。

高度経済成長期には総評、同盟などの共催で統一メーデーが続けられていましたが、労働組合の全国中央組織の再編による組織対立の激化で、1989 年以降は統一メーデーの開催ができなくなり、日本労働組合総連合会（連合）と非連合系の全国労働組合総連合（全労連）や全国労働組合連絡協議会（全労協）による分裂開催となっています。また、連合は 2001 年以降 4 月の最終土曜日もしくは昭和の日（水・木・金曜日に当たる場合）といった「4 月（April）にメーデー（May Day）」を行うようになり、一方で全労連や全労協のメーデーは 5月1 日開催を続けています。なお、東京だけでなく、日本各地の地区労組もそれぞれの地域でメーデーイベントを行なっています。

地方交通を考える③ 万葉線（富山）

富山新港工事により分断されるも、時代を超えて行政と地域住民の運動で走り続ける鉄道

1933年に全通した中越鉄道（のちに富山地方鉄道）射水線は、県庁所在地富山と日本海の重要港湾である伏木港を結び、放生津潟と呼ばれる潟湖の砂州の上を通っていました。しかし戦後、日本海にも大型船の寄港可能な港湾が必要となり、放生津潟を利用して富山新港を整備することになりました。大型しゅんせつ船を放生津潟に入れるため、港口を切断し外海と潟湖を接続することとなり、1966年に新港東口（予定地）・越ノ潟間を廃止し、越ノ潟以西は富山地方鉄道から加越能鉄道に移管され新湊港線となりました。両駅間は県営のフェリーで連絡され、新港東口以東は1980年4月1日に廃止されました。

日本最後の市内軌道？

富山地方鉄道は1948年に高岡軌道線区間にあたる地鉄高岡・伏木港間を開業し、これ以降長らく軌道線の新規設置がなかったため、『日本最後の市内軌道計画』とも呼ばれていました。1951年に米島口・新湊間が開業し、前述の射水線と接続され、高岡から新湊経由で富山までの直通運転が開始（1966年の富山新港開削時に廃止）されました。1959年に高岡市内交通一元化のため、高岡軌道線が加越能鉄道に譲渡され、1966年の新湊港線譲渡により加越能鉄道が一元的に管理・運行することになり、その後米島口・伏木港間の伏木線を廃止し、現在の万葉線（高岡駅から越ノ潟：12.9Km）となっています。

市民を巻き込んだ存続運動3セク設立へ

1998年2月、加越能鉄道は、国からの欠損補助打ち切りを機に、利用者減少に歯止めがかからないとして、万葉線を廃止。バス代替輸送に転換したいと表明しました。万葉線沿線の高岡・射水両市では、万葉線が両市の重要な生活路線であり、魅力あるまちづくりに活用すべき都市施設であるとして、その存続に向け精力的に取り組みました。

この取り組みには、市議会はもとより、市内の各種団体や多くの市民が積極的に参画し、まさに両市を挙げての検討・協議の結果、万葉線は第3セクター方式の新会社で存続させるとの結論に至り、株式会社万葉線が2001年3月に設立されました。

新会社の設立に当たっては、富山県・高岡市（人口16万人）・射水市（人口9万人）、地元企業等からの出資金に加え、多くの一般市民から寄付金が寄せられ、地元自治体、住民、企業・団体の「熱意と行動」に支えられ、2002年4月1日から新生万葉線としての運行を開始しました。

利便性向上と市民協働による維持・利用促進運動

（1）LRVの導入と終電時間の繰り下げ

万葉線では積極的にLRV（Light rail vehicle）を導入しており、現在では従来型電車5両とLRV6編成を所有し、昼間15分間隔での運行を確保しています。

また、高岡駅発の最終電車は23時（日曜運休、中新湊止まり、越ノ潟行きは22時）となっており、金曜日（祝日除く）には24時発中新湊行きシンデレラ便を運航しています。

（2）万葉線対策協議会

万葉線を維持確保し、沿線住民の生活の安定を図ること目的として1980年に発足しました。高岡・射水両市を始め、両市の市議会、商工会議所、連合自治会、連合婦人会及び万葉線株式会社で構成され、毎年、万葉線利用促進のために様々な事業（高岡七夕まつりや新湊新港花火大会に万葉線を利用して出かけた場合、帰りの無料乗車券を配付など）を展開しています。

（3）万葉線を愛する会

万葉線の利用促進を図るため1998年に設立され、年会費は個人1口千円、法人1口1万円で会員期間は毎年10月1日～翌年9月30日です。会員には、会員証の他、会員オリジナルの万葉線セット回数券（770円分セット、法人会員の場合は1口につき5500円分）と年1回の会報が郵送され、特典協力店より、特典サービスが受けられることとなっています。

このように行政だけでなく経済界や住民を巻き込んで維持・利用促進運動が行われているのが万葉線の特徴です。

みんなの声

◎この4月に、中学校と高校に入学した子どもたち、私自身も職場を異動し、それぞれが新しい環境でスタートを切ります。素敵な一年になるように…。
H・T　日野町職労

◎定年退職後の「再任用」も、この4月からいよいよラスト・イヤーです。はるか年下の正規職員さんの下で働くことに対しては、何の抵抗もありませんでした。今から、"その先"を考えておかなきゃなりませんね～。
A・N　自治体一般

◎息子が学会で北海道に行きました。今回も前回同様ポスター発表で、前回は上手く発表できなかったとのことなので、今回は、頑張ってほしいと思います。
M・H　滋賀県職

◎コロナで途絶えた仲間との再開や家族旅行、イベントなどが徐々に復活しています。人はやはり面と向かい合ってこそコミュニケーションが生まれ、社会が形成されているんだなぁとつくづく思います。組合対抗の野球大会も復活してほしいですね。
Y・O 大津市労連

◎夏の暑い日、冬の寒い日、雨でも雪でも毎日通学路に立ってくださるスクールガイドの皆様のおかげで子供達が安全に登校できています。ありがとうございます。お体には十分気をつけて下さい。
M・H 大津市労連

言ーたい劇場

小菅りや子

▶ WEBで簡単応募ができます

【問題】上の絵と下の絵を比べると7カ所間違いがあります。どこでしょう。

（一次締切）5月15日（月）
（二次締切）5月31日（水）

正解者の中から抽選で図書カードを進呈。（一次締切日を過ぎて郵送された方にも当選権あり。二次締切当選者は翌々月号に発表）

《338号（二次締切）》
《当選者3名》
桑野　麻希様　大津市労連
新開　一広様　大津市労連
野澤　淳　様　滋賀自治体一般ユニオン

《339号（一次締切）》
《当選者4名》
加藤　義弘様　滋賀県職
朝加　広郷様　大津市労連
清水　拓也様　大津市労連
奥山　裕二様　大津市労連

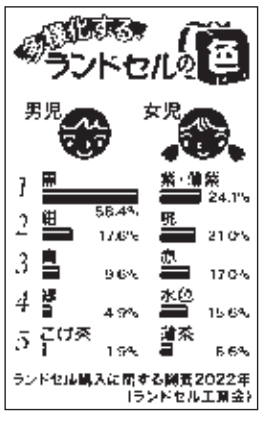
《前号の正解》サクラフブキ

【応募方法】
WEB・ハガキ又はFAXで。答え、住所、氏名、単組名、職場のできごと、話題、家族のたよりなど、ひとことお書きください。（匿名不可）

【送り先】
〒520-0051
大津市梅林一丁目3-30
こうぜんビル1F 滋賀県自治体労働組合総連合
FAX 077(527)5522

くらしと統計

ランドセル／「黒」減少、「赤」3位



新1年生が背負うピカピカのランドセル。2022年春入学した児童のために購入したランドセルの色は、男児の「黒」が年々減少し、女児は「赤」に代わり「紫・薄紫」がトップに――。

日本かばん協会ランドセル工業会のアンケート調査（対象は保護者ら1500人）の結果です。

かつて男児の定番色だった「黒」は、2019年に68.1％とほぼ7割を占めていましたが、年々減少して昨年は6割を下回りました。一方、女児の「赤」は20年まで1位を続けていましたが、21年に「紫・薄紫」が逆転してトップ交代。昨年は「桃」にも抜かされ3位。さらに水色も伸長するなど、ランドセルの色の多様化が進んでいます。

購入金額も年々上昇し、昨年は平均5万6424円。だれが支払ったかを聞くと、祖父母が55%（父方と母方の合計）でした。かわいい孫のためなら出費は痛くない!?

話題の映画

主席指揮者の栄光と挫折

『TAR/ター』トッド・フィールド監督（脚本・製作）

世界最高峰のオーケストラを舞台に、女性指揮者の栄光と挫折、心に広がる闇を描いた作品。今年の米アカデミー賞で作品賞など6部門にノミネートされました。女性として初めてベルリンフィルの首席指揮者に就任し活躍するリディア・ター（ケイト・ブランシェット）。作曲者としての才能も発揮し、多忙な日々を送っていたが、ターがかつて指導したクリスタという若手の指揮者が自殺……。5月12日から全国公開。